

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R4.6.1)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	コックロデニウム ポリクリコイデス
1. 大在	8:05	0	19.9	—	—	0	36	75	0
2. 神崎	8:17	0	19.6	—	—	0	0	1175	0
3. 古宮	8:48	0	19.2	—	—	0	3	275	0
4. 一尺屋	9:03	0	17.8	—	—	0	2	50	0
5. 下の江	9:33	0	18.4	33.65	8.1	0	0	0	0
		5	17.9	33.77	8.3	0	0	0	0
6. 下の江(奥)	9:39	0	18.5	33.59	8.0	0	0	0	0
		5	17.9	33.74	8.2	0	0	0	0
7. 日ノ浦	10:09	0	18.7	33.67	8.2	0	0	0	0
		5	17.9	33.73	8.2	0	0	0	0
8. 三つ子養殖場	9:53	0	18.3	33.71	8.1	0	0	0	0
大分みらい水産		5	17.6	33.75	8.1	0	0	0	0
9. 三つ子養殖場	9:47	0	18.7	33.65	8.1	0	0	0	0
臼杵海産		5	17.9	33.74	8.3	0	1	0	0
10. 黒島	10:02	0	17.9	33.70	8.2	0	0	0	0
		5	17.3	33.72	8.3	0	0	0	0
11. 日代	11:03	0	19.4	—	—	0	0	0	0

連絡事項:

有害プランクトンのカレニア・ミキモトイとヘテロシグマ・アカシオが注意密度を超えて確認されました。

魚介類の管理にご注意下さい。

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/cc)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アラビ、ササエ等ではキムデニウム・ミキモトイで100~200細胞/ccで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

